



中島 慶子

温泉保養宿泊施設及び、高齢者福祉スペースについて

中島 天山多久温泉タクア・高齢者福祉スペース「彩り」の利用状況と市のかかり等については。

答弁 天山多久温泉タクアは、月に約1万人以上のご来場をいただいている状況で、海外からの宿泊客や修学旅行も増加しているようです。「彩り」につきましては、月平均2600人とご利用状況です。



天山温泉タクアへの市のかかりとしましては、毎月月初旬に商工会、観光協会、商工観光課による定例会を行い、イベントなどの情報の提供や市民要望事項の伝達等を行っています。「彩り」の活用については、地域包括支援課がかかわる介護予防事業で「歌おうドレミクラブ」の運営も行っており、現在20回開催し、延べ207名の参加をいただいています。

多久・武雄線バス運行の見直しについて

中島 多久・武雄線バス運行に係る昭利自動車株式会社との協議と今後については。

答弁 昭利自動車との協議の結果、現行の路線、運賃は維持をしたうえで、車両をバスとジャンボタクシーの併用ということと協議が整い、通学への影響を考え8便目を追加し、武雄から多久へは19時20分の便を、多久から武雄へは19時40分を最終とする予定です。今後は多久高校へ利用者増を働きかけるとともに、市民の方に市報等で利用促進のお願いをする予定です。



野北 悟

新公立病院について

野北 診療科目と医師の確保についてはどの様になっているのか。

答弁 診療科目については、県及び県医師会は統合検討の状況報告を行っており基本構想、基本計画の策定において協議を行っていく。医師確保についても、佐賀大学医学部をはじめとした関係機関の協力を得られるよう努めます。

野北 新武雄病院の敷地は約1.5haだが、緑ヶ丘小学校跡地が候補地に入らなかつた理由は。

答弁 2〜3haの範囲で小城市と候補地を出し合った。また、中央公園のスポーツ公園としての位置づけで開発を行うと決定していた。

野北 収益についての見通しは。  
答弁 施設の規模や診療科目で変わってくるので、現段階では断言できない。



野北 多久駅周辺整備で多くの投資を行ってきたが駅舎だけでは賑わいは作れないと指摘されていた。今回の候補地では、今までの投資は生かされず市全体の利益に繋がるとは思えないが、新たな投資を重ねるのか。

答弁 小城市との関係が大きく影響しており単独の議論はできない。

野北 コンサルタントの評価では、毎年赤字が出る結果だったが問題ないか。

答弁 基本構想、基本計画の策定の中で改善できる検討が必要と考えている。

野北 覚書の破棄は法的に可能か。  
答弁 覚書は非常に重いものと受け止めているが、可能である。

野北 用地と費用負担以外何も決まっておらず、計画の中身を見て判断させていただく。

山の意見が来ているわけではない現状があります。

平間 多久市まちづくり基本条例について、市民会議を開催し、平成25年9月には、基本条例の方向性や基本条例の提言があったが実現できていません。

協働の対象である市民や市民活動団体、NPOなどの情報、また、文化芸術、特産品、生産者など多久の宝である人材等の情報をデータベース化し、利用できないか。  
答弁 各担当課を網羅したデータベースをどう活用するかという仕組みづくりについては非常に困難だと考えています。



防災対策について



樺島 永二郎

樺島 防災パトロールで得た情報を、どのように活用しているか。

答弁 防災パトロールで入手した情報は、その後、防災会議に参加している各機関や、有識者へ情報を提供しています。

樺島 実際の被災現場と防災マップの土砂災害警戒区域・洪水浸水想定区域との比較検証を行い、地図上にその結果を落とし込んでいくか。

答弁 昨年7月の豪雨災害については地図上に落とし込んでいません。今年8月の大雨による浸水区域については、国や県の河川管理者及び市がそれぞれ区域の確認を行っています。

また、土砂災害警戒区域については、比較検証に向け、被災箇所の整理を進めています。

樺島 ハザードマップ上に指定されてなくとも、実際に災害が起



【その他の質問】

▼ドローン隊の活用状況と、今後、操縦者の計画的な訓練について

市民と築く、開かれた自治体経営と持続可能なまちづくりについて



平間 智治

平間 市が活性化するために、市民のニーズや地域課題に対して、現状を把握し、市民意識の向上を図り、行政と市民や組織、団体等の適正な役割分担に基づいた協働と参画によるまちづくりが必要。

先進自治体では、市民協働の推進に関する条例に基づき、区域内で活動する自治会、各種団体による地域まちづくり協議会を設置し、地域団体と行政が協働し課題解決をする事業、また、市民公益活動団体と協働し市民、行政提案型事業を実施されていますが協働のまちづくり体制の整備の現状と課題は。

答弁 策定委員の選定や市民アンケートの実施、また、パブリックコメントなどを行います。

課題面としては、委員数もある程度限りが、市民アンケートやパブリックコメントについても、沢